

●フロントまわり

灯火器はその光り方によって車両の印象に大きな影響を与えます。今回私たちが目指したのは、“PCXらしさ”と“さらなる進化”を光で表現することでした。

ヘッドライト部分のデザインはロービーム・ハイビーム共に“PCXらしさ”の表現として横一列に配置。そこから車体後方に大きなフローを感じさせるシグネチャーランプのラインをつくり、車体のデザインとマッチさせました。

また、シグネチャーラインをフォローするように細い5本の光のラインを並行して配置。このような新しい発光技術を取り入れることによって、お客様に“さらなる進化”を感じていただけると考えています。

■フロントまわり(CGイメージ)



●リアまわり

従来モデルのリアビューは“X”に近い形状の赤い光が印象的でしたが、今回のテールランプのデザインはそれに更なる磨きをかけ、立体的な光り方を目指しました。車体後方から前方に伸びるレンズに沿ったテールランプの赤い光は“X”の一部を構成するとともに、今までのPCXには無かった“光の立体感”を表現しています。

上下に割れたテールランプの“X”をつなぐようにストップランプを発光させています。これは2本の細いラインが強い光を放つ“マルチオプティクス”技術を応用したものであり、新しいPCXの先進性を強調する部分です。

■リアまわり(CGイメージ)

